

指導理念

- **自ら考え、自ら学び、自己実現できる人間を育てる**
- **個性を重んじ、他人を受け入れ、認める心を育む**
- **困難に負けない気持ち、生きる力を養う**

学習塾の役割とは何でしょうか？一般的に学校（公教育）は全人教育を目的とし、塾（私教育）は成績の向上・志望校合格を目的とするとされます。

しかし、たかが塾といえども教育機関です。子供たちに少なからず影響を与える場なのです。その塾が、例えば上位校の合格のみを、ましてや利益を上げることを第一の目的としていたら子供の人格形成に悪影響を及ぼしかねません。「こういう人間を育てたい」という理念が存在しなければ、それはもはや「教育」と呼べるものではないと考えます。

私たちは上記のような理念・理想を掲げ、日々実践に励んでおります。具体的には以下のような「人間力」を伸ばしていきたいと考えています。

1 優しさ

塾名にもあるとおり、私たちの理念の根本をなすものです。人間にとって最も不可欠な要素の1つだと考えます。優しさとは決して「甘さ」ではありません。言うなればそれは「人を思いやる」または「人を許せる」力です。「キレル」という状態になる子供が多い昨今、相手のことを考え、思いやり、許すことを教えることは大切ではないでしょうか。また、相手を思いやる上で「厳しさ」も時には優しさであると考えます。

反面、自分に対しては厳しくあれる人間が理想だと考えます。「自分に厳しく、人に優しく」できる人間の育成に全力をかけたいたいと思っております。

2 志

人間が向上する上で、高い志を持つことは不可欠です。志とは、今の自分では届かない目標のことです。私たちは、常に1段上の目標を持たせることを念頭に置いた指導を行います。具体的には、志望校・定期テスト・日々の小テストなどにおいてです。特に、受験というのは、ほとんどの生徒が初めて迎える試練と言えます。そこで1段上の学校に挑戦しようと決意し、努力し、合格を勝ち取れば（また、仮に不合格でも）、これ以上ない人生経験ではないでしょうか。安易に「行ける高校」を選んだ生徒と「行きたい学校」を選んで努力を続けた生徒では、学力的にも人間的にも大きな差が生まれるでしょう。

また、日々の小テストなどでの小さな目標の達成も重要です。特に、苦手とする科目・分野については「合格点を取る」という小さな成功体験を積み重ねることが、最

も重要だと考えます。やはり、「少し上の目標を努力して達成できた」という実感を大切にします。

3 精神力

ちょっとしたことでもすぐに物事をあきらめてしまう子が増えていると言われます。確かに現場でそれを感じることは少なくありません。

前述した「志」を成就するためには、困難があっても簡単にはあきらめない気持ち、すなわち精神力が必要になります。また、心の力が強い人間は、そのまま「生きる力」が強い人間とも言えます。ちょっとやそつとではへこたれない人間、そんな強さを伝えて生きたいと思っています。

4 プラス思考

何かに成功する人間と失敗する人間とを見ても、そこに向かう気持ちの持ち方が大きく影響している場合が多く見られます。「きつとうまくいく」と信じて取り組む人と、「多分ダメだろう」と思って取り組む人では成功する確率に違いが出てくるものです。

私たちは、何事においても「前向きに考える姿勢」を身につけさせたいと考えます。子供たちにとって、受験やテストはできればやりたくないものであることが多いのではないのでしょうか。このようなことに対しても、プラス思考で取り組める人になってもらいたいと思います。

5 道徳心

「道徳」とは、言い換えれば「倫理」または「正義」です。どんなに成績が良くても、どんなに高い目標を達成したとしても、人として失ってはならない感覚があります。現代社会において、欠落が懸念されるものの1つとして「善と悪を判断する力」が挙げられます。例えば、成績を上げるためならば何をやってもいいのでしょうか。答えは「否」でしょう。カンニングなどの不正やウソをついたりすることに、心の痛みを感じられるような子供たちを育てていきたいと思っています。

また、私たち自身の「教育者」という立場を重く捉え、まず自分たちが道徳心ある人間になりたいと思っています。

6 情熱

魅力のある人間、何かを成し遂げた人間というものを考えるとき、強い情熱を持っている人間（燃えられる人間、熱い人間）であるという共通点が浮かび上がります。私たちも生徒に対して情熱を発し続ける集団です。情熱は必ず生徒たちに伝わり、また生徒たちを良い方向に変えます。そして、それと同時に「情熱的であることの素晴らしさ」を生徒たちに理解させたいと思っています。

7 思慮深さ

人は一方で前述の「情熱」を、そして同時に、少し立ち止まって冷静に（第三者の目で）自分を見つめる「思慮深さ」を必要とします。熱くなることは確かに大切ですが、周りが見えなくなるという欠点があります。特に成長過程の子供は、1つのことに夢中になると、周りが見えなくなる傾向が強いと言えますし、実際そのような場面は教育現場では日常的に見られます。そんな時には、時を逸せず、タイミング良いアドバイスを入れるように心がけています。

8 礼節

大人になっても人間関係をうまく築けずに悩む人が増えています。

礼節、特に挨拶は、良好な人間関係を構築する上で、最初の1歩と言えます。挨拶すらろくにできない人が、他人から好印象を持たれることはまずありません。私たちは、この挨拶をはじめ、言葉遣い、態度などの礼節指導にも日々取り組んでいきます。

9 自己革新

「今の自分よりも良い自分になりたい」これは誰もが持っている願望でしょう。しかしながら、「自分を変える」ことに抵抗を感じる人が多いことも事実です。それは、「今の自分の否定」にもつながるからでしょう。

実はその傾向は、人格形成が進んだ大人の方に多く見られます。私たちは、人格形成期の子供たちに自己革新を求めると共に、常に自分たちの自己革新にも努めたいと考えています。私たちがこの気持ちをなくしてしまったら、子供たちを良くすることはできないでしょう。できる限り人間としての器を広げ、どんな生徒にも良い影響を与え、変えられる教師を目指していきます。

10 素直さ・感動

前述の「自己革新」をする上で、重要になってくるのが「素直さ」です。素直な心を持った人間は、例えば人からのアドバイスに「聞く耳」を持ちます。他人の話が聞けるということは、自分を伸ばすことにつながります。

またそれに通じることですが、素直な人間は、様々なことに感動することができる人間と言えます。感動は人の心を豊かにすると共に、人を変えるきっかけになりえます。「塾に来たら感動がある」そんな塾を目指したいです。

11 自学自習

成績を伸ばすことはもちろん塾の大切な使命ですが、塾から与えられることが全てで、自分では何もやらない、というのは問題です。人間、いつかは自分一人でやらなければならない時が来ます。社会に出れば、自らの責任で進めなければならないことが当然いくつも出てきます。

優伸は補習の多い塾ですが、それに頼り切らせないよう心がけます。例えば欠席してしまったとき、まずは自分でできること（友達や先生に何を学習したか聞く、学習内容を調べてみる、基本問題を解いてみる、など）はないか考えてもらい、その上で必要なことを塾が与える（課題プリント、補習など）、といったスタンスです。

ちなみに、「塾で与える部分」と「自分でやる部分」が最も絶妙に組み合わせられているのが「Vコース」です。

12 考える力

現代は「情報化社会」と呼ばれる情報過多の時代です。必要な情報を誰でも容易に入手できる反面、情報の渦に翻弄されることも起こりえます。そんな中では、与えられるものを「能動的」に受け取ることが重要になってきます。何が正しい情報か、何が必要な情報か、自分がその中で何をすべきか、しっかり考える姿勢を持たなければなりません。

我々は、あらゆる場面で生徒たちに考えることを要求します。各教科の指導も、決して詰め込みではない考えさせる指導を行っていきます。（ただし、我々は「暗記」をさせるノウハウにも自信があります。知識を増やすことは重要であり、覚えさせることイコール詰め込みではありません。）実は、この「考える力」を身につけた生徒ほど成績も伸びやすいのです。

13 幅広い価値観

我々は、以上のような理念・理想を持っておりませんが、これが絶対的なものだとは思っていません。理念や理想というものは、教育者なら多かれ少なかれ誰もが持っているものですし、また持つべきものですが、1歩間違えると「偏った考え」になることがあります。成長過程の子供たちに偏狭な考えを押しつけるのは危険なことです。

そこで、前述のような「素直な心」で様々な人からの意見を取り入れるよう心がけます。生徒さんはもちろん、保護者の方々とも十分なコミュニケーションが取れるよう、学期に1度の面談などを実施しています。

14 人間力

以上のことなどの様々な人間の総合的な力を「人間力」と呼びます。我々の究極的な理想は、講師・卒業していく生徒たちがみんな人間力豊かな人になることです。人間力のある人は、人を呼びます。そんな形で人が増えていく塾にしたいと思っています。